

須賀川市立長沼中学校・令和元年度学校通信

長中だより

第25号（令和2年3月13日発行） 発行者 校長 小貫 崇明



今回が今年度最後の「長中だより」になります。保護者・地域の皆様、一年間お読みいただきありがとうございました。

〇「令和」の時代を生きる～修了式で伝えたかったこと～

新型コロナウイルスの感染防止対策にかかる臨時休業がなければ、3月23日（月）に実施するはずの「修了式」ですが、現在の状況下では中止せざるをえませんでした。本当なら、各学年の代表生徒に修了証書を授与し、校長式辞や担任の先生のお話等で今年度を振り返り、次年度以降に希望を持って進級してもらいたいのですが、その思いを、今年度最後の「長中だより」で伝えたいと思います。

【修了式・校長式辞】

今回の臨時休業により、約3週間の学校生活が突然奪われてしまい、卒業式は実施できたものの、卒業する3年生や、進級する1・2年生の中には、完全燃焼できないままそれぞれの学年が終了してしまったと嘆く人もいるでしょう。進級するという事は、厳しい言い方をすると、1年間の学習や経験・体験を積み重ね、次の学年に進む心と体の準備が整った人だけができると思う人も少なくないかもしれません。

ただ、長沼中の皆さんが、次の学年に進む準備ができていなかったかどうかで言うと、私は準備ができていたのではないかと考えています。4月に平成31年度として始まった今年度は、新しい天皇が即位され、5月から令和という時代が始まりました。何かにつけ「令和最初の〇〇」ということで、様々な学校行事や体験活動、長沼まつりや中ボラなどの地域の行事、部活動の大会等を経験してきました。それらすべての場面で、皆さんは立派な行動を見せていました。平成のどの年度とも引けをとらないすばらしい姿でした。また、今回の新型コロナウイルス対策の臨時休業だけでなく、台風災害による休業、インフルエンザによる学級閉鎖など、予定外の休業日がこれほどあったのは、あの東日本大震災以来ではないでしょうか。そんな状況下でも、皆さんはそれらの混乱に流されることなく、長沼中の生徒として立派に自分磨きをしてきました。ですから、自信を持って次のステージに進んでください。

これからの「令和」の時代は、今までも問題視されてきた地球環境の変化や国際社会のゆがみのようなものが急速に進行してしまうかもしれません。その時、大切なのは「目の前の課題を客観的に見つめ、適切な知識や経験を生かして、たくましく行動できるか」ということだと思います。そこで、令和2年度は、まずやり残した学習や活動をふまえたフォローアップを意識することはもちろん、新しい学年、新しい環境で大いに自分の個性を伸ばしてください。「令和」はあなたたちの時代です。あなたたちが主役なのです。だから、「令和」が過去最高の時代だと思えるように、過去最高の力を発揮してください。期待しています。そして、・・・また会いましょう。



★大切にしたい言葉(70) 「ふるさと」

あなたのふるすとは、長沼です。長沼のおいしい空気と水に育てられ、長沼で学び、長沼で友や先生方と出会い、友とともに笑い、泣き、楽しく過ごした長沼が、あなたのふるさとです。大切にすべきふるさとです。

